

兵庫県支部便り



H270608

平成27年度兵庫県防災士会通常総会を開催しました

【日時】平成27年5月31日（日）14：00～17：00

【場所】兵庫県立神戸生活創造センター

今年度は、大幅な役員交代や組織変更等で準備期間も少なく開催が危ぶまれておりましたが、皆様のご協力により、無事、開催できました。

総会資料については、要である事務局長の突然の東日本への赴任により、会員皆様の納得いく資料とならず、熱い議論となりましたが、会運営の貴重な意見を聞くことが出来き、今後の改善点等が見えてきました。

1号議案から5号議案まで、出席者総意のもと、承認されました。

（出席者57名、委任状139名、正会員数311名）

あまりにも白熱した議論が続いていましたので、最後に兵庫県最年少の防災士（14歳）にマイクを渡し、和んだところで閉会となりました。

会員皆様から頂いた貴重な意見を今後の活動に活かしていきたいと思えます。

自主防災組織活動支援事業実施しています

昨年に引き続き、今年度も自主防活動支援事業を実施しています。自主防災組織への支援金は無くなってしまいましたが、地域の防災士を派遣する内容は変わっていません。

会員の皆様は、昨年の地域と共に新しい地域にも働き掛けをお願いします。

詳しい内容は、各エリア理事にお問い合わせ下さい。

〈訃報〉

丹波地域担当の前理事田中忠司氏が、6月5日の午後10時57分に心筋梗塞で他界されました。

当日、防災情報活用研修に参加させていただき、驚きを禁じ得ません。

田中氏は、NPO法人化当初から理事を務め、地域の防災力強化に力を注いでおられました。故人のこれまでの活動に敬意を表すると共に、ご冥福をお祈り申し上げます。

兵庫県防災士会 通常総会



熱心に指導する田中氏（右端）

神戸新聞 HP



最新の雨量 川の水位 避難ルート

防災にネット情報を

丹波豪雨教訓 収集、活用法学ぶ

インターネット上の防災情報を活用し、地域の安全対策に役立ててもらうための研修会が5日、篠山市宮田の西紀老人福祉センターで開かれた。市内各地の自治会長や自主防災組織のリーダーら約60人が参加し、パソコンで最新の雨量や川の水位、避難ルートの調べ方などを学んだ。

(今泉欣也)

梅雨を迎え丹波県民で避難の方法やタイミングが初めて企画。昨夏メーキングなど住民自ら判断の丹波豪雨では、夜間を求められる状況もある。

「自分の命は自分で守る」意識の醸成を図るのが狙いという。

研修会では、県防災士会のメンバーが講師を務め「災害はなくせないが、被害は対策で少なくできる。情報をどう集め、生かせばいいか知ってください」とあいさつ。県内全域の災害関連情報が集約されたハザードマップ、詳しい気象状況や川の水位が分かるサイトなどを紹介した。

その後、参加者はインターネットで防災に役立つ情報の収集方法を学ぶ参加者たち。西紀老人福祉センター



篠山で住民研修

分たちの集落を地図で拡大。航空写真や等高線図を重ね、土砂災害警戒区域を確かめたり、避難所までの距離や安全な道のりを調べたりした。

篠山川に近い野中自治会の西潟弘会長(67)は「情報の見方が分かってなかったので、とても参考になった。大雨対策に生かし、学んだことを地元の人たちに伝えたい」と話した。研修会は篠山市で7日まで、丹波市では12、14日に開かれる。

ホンダカーズ篠山
079(594)1002